

2023 年 1 月 19 日

株式会社ユーグレナが発行する気候変動解決型転換社債への投資について ～バイオ燃料の普及を通じ、脱炭素社会への移行を支援～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、株式会社ユーグレナ(以下、「ユーグレナ社」)が発行する気候変動解決型転換社債型新株予約権付社債¹(以下、「本債券」)に 20 億円投資することを決定しましたので、お知らせいたします。

ユーグレナ社は、バイオテクノロジーとサステナビリティを軸に、食品・化粧品等のヘルスケア事業や、バイオ燃料を用いたエネルギー・環境事業等の幅広い事業を展開する企業です。同社は、「Sustainability First(サステナビリティ・ファースト)」をユーグレナ・フィロソフィーとして掲げ、2018 年には日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントを竣工するなど、持続可能な社会の実現に向けた取組みを積極的に推進しています。



建設予定地である PETRONAS 社が保有するマレーシア・ジョホール州の製油所・石油化学コンプレックス(Pengerang Integrated Complex)

また、2022 年 12 月には、バイオ燃料事業の商業化実現に向けて、マレーシアの Petroliaam Nasional Berhad(PETRONAS 社)とイタリアの Eni S.p.A(Eni 社)と共同で、マレーシアにおけるバイオ燃料製造プラントを建設・運営するプロジェクトを発表しました。

本債券によって調達された資金は、上記プロジェクトへの資金拠出に充当される予定です。本商業プラントでは、使用済み植物油などを原料に航空機用のバイオジェット燃料や自動車、ディーゼル列車、船舶用の次世代バイオディーゼル燃料を製造し、持続可能なバイオ燃料の使用を世界各国に普及・促進することで、温室効果ガス排出量削減等を目指しています。

当社は、本債券への投資を通じて、バイオ燃料の普及および温室効果ガスの排出量削減に向けたユーグレナ社の取組みを資金面からサポートします。当社は今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投融資に積極的に取り組んでいきます。

【本債券の概要】

発行体	株式会社ユーグレナ
発行額	48 億円
当社投資額	20 億円
償還期間	5年(発行日:2023年2月6日、償還日:2028年3月31日)

¹ 株式会社格付投資情報センター(R&I)から、国際資本市場協会(ICMA)の「グリーンボンド原則 2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」との適合性等についてセカンドパーティーオピニオンを取得しています。本債券は、通常の転換社債と比較し、①クーポンが地球の CO₂ 濃度と同率、②資金使途がバイオ燃料製造商業プラントの建設関連資金に限定の特徴を有しています。